

宇都宮大学  
アクションプラン2016  
ACTION PLAN 2016

地域の変革をリードする「知の拠点」



### 1 地域を元気にする「知の拠点」

宇都宮大学は決して大きな大学ではありません。巨大な国立大学と比べれば教職員の数は1/20、予算はそれを大きく下回る規模です。しかし、「コンパクトな地方国立大学」であること、それこそが常に地域貢献度全国トップクラスの評価にもつながる本学の「強み」です。

また、栃木師範学校(1874)と宇都宮高等農林学校(1922)を基礎として成り立った本学には、社会と学問の繋がりを強く意識した「実学の伝統」があります。この伝統と「強み」を最大限に活かして、21世紀の国立大学としての責務と信頼に応えるために、宇都宮大学は地域の「知の拠点」としての機能を強化します。「地域に学び、地域に返す、大学と地域の支え合い」という基本姿勢の下で、地域を元気にするエンジンとして教育研究を進め、地域とともに成長していきます。

### 2 「行動的知性」を育む教育と協創的な研究

地域の「知の拠点」である大学には、急速に変貌する地域社会を支える人材や、新たなイノベーションの創出によって地域の活性化をリードする人材の輩出が求められています。そこで本学は「実学の伝統」をグローバル化する現代に活かし、幅広い世界観(すなわち教養)と専門的学問を、現実の世界の中で活かす力を持った「行動的知性」を育成します。

また新しい知を創造する研究活動は、「行動的知性」の育成の基盤であり、イノベーション創出の源泉です。本学は、特徴的な研究のポテンシャルをさらに高めていきます。

国内有数の内陸工業地域の中心にありながら、活発な農業生産が行われ、一方で多くの限界集落を抱えてもいる栃木県は、現代日本と先進国の縮図とも言える特徴を持っています。こうした地域をフィールドとして行った実践的な教育とそれを支える研究は、世界のどの地域にも発展可能な普遍的な価値をもちます。

### 3 「3C精神」で刻む新たな歴史

伝統と「強み」を最大限に活かすカギは、自由闊達で変化を恐れない宇大スピリッツ「3C精神」(Challenge=主体的に挑戦し、Change=自らを変え、Contribution=広く社会に貢献する)です。コンパクトな大学だからこそ手にできた学生や教職員同士、そして地域との“顔の見える距離”、それは一人ひとりの学生を大切にする“手作り”の教育や、文系・理系の枠を超えた新たな知の創造、地域に寄り添った社会貢献の原動力になると考えています。

宇都宮大学は伝統と「強み」に「3C精神」を掛け合わせ、学生と教職員が一体となって、さまざまな新しい試みに挑戦します。私たちは今後とも、「最も学生を大切に育てる大学」「新たな知を創造し続ける大学」「最も地域から信頼される大学」であるために、未来に向かってさらに飛躍を続けていきます。

2016年4月

宇都宮大学長 石田朋靖

# 宇都宮大学の基本姿勢

“地域に学び、地域に返す、大学と地域の支え合い”という姿勢を大切にし、地域の「知の拠点」として変革をリードします。

私たちが  
目指すもの = 4つの  
Vision

## Vision1 | 「行動的知性」を育成します

豊かな教養と高い専門性を基盤として、キャンパスを飛び出し、地域や世界の現実社会でたくましく行動する人材を育成します。

## Vision2 | 異分野を融合した柔軟な発想で新たな知を創造します

専門性を超えた自由闊達な交流や協働を通して、新たな知や価値の創造に挑戦するとともに、学生にもそうしたマインドを育みます。

## Vision3 | 地域の強みを発揮するイノベーションを創出します

地域の産業界、行政、金融機関等との連携を一層強め、地域独自(オンリーワン)のイノベーションを生み出します。

## Vision4 | 構成員一人ひとりの個性を活かした協働を進めます

教職員の個性に合った能力の開発を進めるとともに、構成員の多様な意見を踏まえながら、所属・職位・職種を越えた協働(オール宇大)を進めます。

4つのVisionを達成するために、第3期中期目標・中期計画期間(平成28~33年)は「5つの重点戦略」のもとで施策を進めます。

## Visionを実現させる5つの重点戦略

重点戦略1 | 地域の“知”の拠点形成

重点戦略2 | 地域人材育成の基盤強化

重点戦略3 | グローカルリーダーの育成

重点戦略4 | 地域イノベーションの創出

重点戦略5 | ガバナンス改革

# 重点戦略 1

## 地域の“知”の拠点形成

全国に先駆けて設置した文理融合型の「地域デザイン科学部」を起点として、まちづくりを支える専門職業人を育成するとともに地域との共創機能を強化します。さらに、新しい文理融合型の大学院組織を立ち上げ、地域の“知”の拠点を形成します。

### 新学部「地域デザイン科学部」で〈まちづくりのプロ〉を養成します。

#### 地域をフィールドとした文理融合の実践的教育

全専門科目のアクティブ・ラーニング化、地域をフィールドに文系理系の異分野の学生・教員が参加する「地域プロジェクト演習」の必修化等により、〈地域の課題を理解し、重層的・複合的な地域課題を解決する専門職業人〉を育成します。



新たなまちづくりに向けて社会システムを支え、魅力ある地域をデザインします



建築を学び人にやさしい居住環境や都市をデザインします



最先端の科学技術を融合して安全で持続可能な社会基盤・都市機能をデザインします



### 地域との共創機能の強化のために「地域連携戦略機構」を設置します。

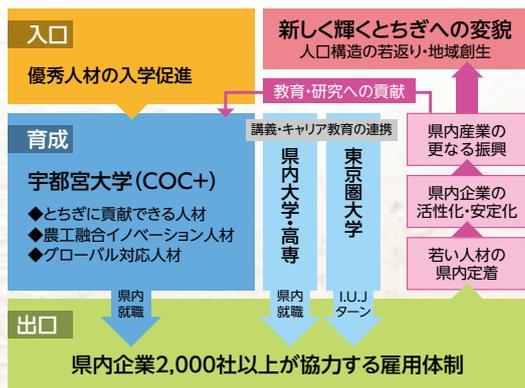
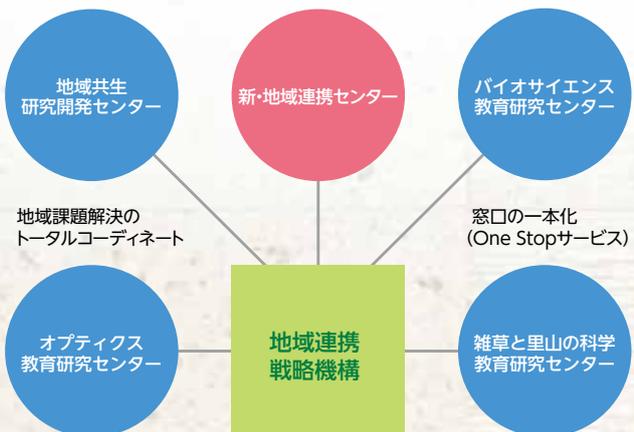
#### ニーズとシーズのマッチング

企業や自治体との交流を通じて地域のニーズを把握し、本学のシーズ(人的・知的資産)を活用した地域連携事業・共同研究を積極的に進めるための全学的窓口として、「地域連携戦略機構」を設置します。

#### 地域創生への貢献

COCとCOC+の事業\*を活用して、地域密着型教育・地域志向研究を推進し、地元で活躍する人材育成を積極的に進め、地域創生に貢献します。

- \*COC事業：「地(知)の拠点整備事業」(H25～29)  
～とちぎ高齢者共生社会を支える異世代との協働による人材育成～
- \*COC+事業：「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(H27～31)  
～輝くとちぎをリードする人材育成地元定着推進事業～



# 地域活性化の中核的拠点の高度化をめざし「新大学院組織」を設置します。

## 文理融合・分野融合の新しい大学院組織の設置

地域開発に貢献する文理融合・分野融合した高度専門職業人を育成します。

**国際学分野**  
**地域デザイン学分野**  
**融合分野(新)**  
**農学分野**  
**教育学分野**  
**工学分野**

# 地域における生涯学習拠点としての機能を強化します。

## 社会人対象の体系的教育プログラム

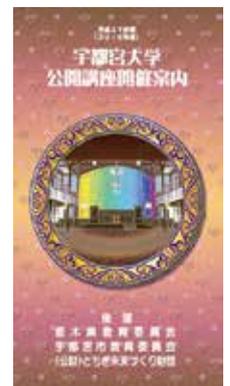
公開講座やセミナー、MOT(経営工学)講座の充実に加え、幅広い社会人向けの体系的教育プログラムを開発します。

**とちぎで学ぶ 若手社会人向け「3C ものづくり経営 基礎講座」**

ものづくりに関わる全ての人々のための  
 宇都宮大学の3C精神  
 (Challenge: 挑戦、Change: 変化、Contribution: 貢献)に基づく  
 自主性を育て、経営戦略、マーケティング戦略、技術経営等の  
 基礎を学べる入門講座



公開講座



主要施策	2016	2017	2018	2019	2020	2021	成果指標(KPI)
新学部「地域デザイン科学部」における「まちづくりのプロ」の養成	地域フィールドの課題解決型演習の拡充(新学部では全員必修)						○課題解決型学生プロジェクト年40件
	地域デザイン科学部における専門科目のアクティブ・ラーニング化(100%)						
	地域デザインプロセスを実践する地域の伴走支援を全県で実施						
「地域連携戦略機構」の設置と地域との共創機能の強化	地域デザインセンター設置	地域連携センターへ統合		地域連携戦略機構の設置			○2020年に「地域連携戦略機構」を設置 ○地域に関する研究を行う教員数を2017年までに50% ○企業等とのマッチング件数10% up
	地域志向研究・教育の拡充						
	行政と協働してまちづくり人材育成プログラムを開発・実施						
	産官学金を含めた地域との連携プロジェクト数の増加						
文理融合・分野融合の新大学院組織の設置	新大学院・構想の確立		申請		新大学院設置		○2020年に新大学院組織を設置
地域における生涯学習拠点機能の強化	公開講座、セミナー、MOT講座の充実						
	構想・試行		UUカレッジ(仮称)設置				

# 重点戦略2

## 地域人材育成の基盤強化

行動的知性と実践的専門性を兼ね備え、3C精神(Challenge Change Contribution)を持って、地域において新たな価値の創造を支えることができる人材を育成します。

### アクティブ・ラーニングと体系的学修評価により学びの質を深めます。

#### アクティブ・ラーニングによる深い学び

アクティブ・ラーニングを積極的に導入して、主体的に考え行動する力や問題発見・解決能力を育成します。

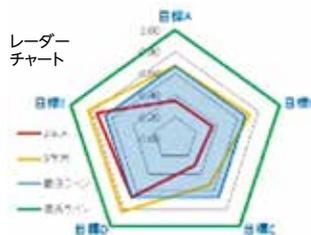


ラーニング・コモンズでの自主的活動

#### 学生の学習意欲と成果の向上

学修ポートフォリオと、AP事業\*で開発するICT活用型学修評価システムを結合させて、学生の学修の質改善につなげていきます。

※AP事業：「大学教育再生加速プログラム事業」  
～新たな地域社会を創造する3C人材の育成  
～アクティブ・ラーニングの体系化と行動的知性  
学修評価システムの開発～ (H26～30)



3C 知識基型キャリアシート		実践力	
3C	身につけたい能力	達成基準	達成状況
Challenge	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力
	課題を解決する力	課題を解決する力	課題を解決する力
Change	変革を推進する力	変革を推進する力	変革を推進する力
	変革を推進する力	変革を推進する力	変革を推進する力
Contribution	社会に貢献する力	社会に貢献する力	社会に貢献する力
	社会に貢献する力	社会に貢献する力	社会に貢献する力

行動的知性(3C) 達成度チェックシート

#### 恒常的な教育の質改善

「大学教育推進機構」を新設し、教育プログラム・教育活動の点検・評価、学修ニーズ調査等の実施とともに、ファカルティ・デベロップメント(FD)をリードして恒常的に教育の質改善を図っていきます。



「全学FDの日」におけるFD活動



学生による授業評価アンケートに基づき  
毎年度「ベストレクチャー賞」を決定

### 地域イノベーションを支える専門職業人を育成します。

#### 高度な実践的専門性の涵養

フィールド実学教育・実践的ものづくり教育の実績を生かして、地元でのインターンシップを積極的に推進します。

#### 地域課題解決の実践的行動力の育成

産業界、経済界、行政と連携して実務家による講義を拡充します。

#### 課題解決力の育成

PBL授業(Project/Problem Based Learning)や学生プロジェクトを拡充し、学生が現実の課題解決のために主体的に行動や提言ができる機会を拡充します。



「創成工学実践」授業風景

## 学生の多様なニーズに対応し、支援体制を充実します。

### 学修支援と相談体制の充実

学修支援やメンタルケアなど学生が相談しやすい体制を整備するとともに、経済的支援や学生表彰制度を拡充します。



学生表彰

### キャリア教育、就職支援活動の拡充

キャリア教育とインターンシップ、就職支援活動をより一層充実させ、高い就職率を維持します。



キャリアフェスティバル2015



学内合同企業説明会

## 教職大学院を核として学校教育の質の向上に貢献します。

### 地元教員の教育力向上のサポート

運営費交付金プロジェクト※の継続的推進により、教職大学院が行う〈理論と実践の往還〉を中心とする現職教育のノウハウを地元教員の力量向上に活かして行きます。 ※～大学と県教育委員会との協働による教員の先進的職能成長プログラムの構築～(H27～31)



### 実践的指導力を持つ教員の育成

体系的教育実践科目の整備、学校支援活動の拡充、実務家教員の活用を積極的に進めます。



### 新たな教員養成カリキュラムの整備

英語・理系教科の指導力向上(小学校)、アクティブ・ラーニングなど現代的課題への対応を組み入れた、授業力強化を柱とする新たな教員養成カリキュラムを整備します。

主要施策	2016	2017	2018	2019	2020	2021	成果指標(KPI)
アクティブ・ラーニングと体系的学修評価による学びの質保証	全授業科目におけるアクティブ・ラーニングの拡充						○基盤教育におけるアクティブ・ラーニング授業受講者 100%
	全教員のアクティブ・ラーニング指導能力の向上						
	研修プログラム開発・試行	研修の全学展開 内容の検証・改善					○2018年に「大学教育推進機構」を設置
	学修評価システム構築・稼働						
	教育プログラム検証・改善						
	機構設置準備	機構設置					
地域イノベーションを支える専門職業人の育成	地元インターンシップの拡充						○地元インターンシップ実施者約230名 ○課題解決型学生プロジェクト年40件
	学生の課題解決型プロジェクトの充実						
学生の多様なニーズへの対応、支援体制整備	学修支援・相談体制の充実						
	キャリア教育、就職支援体制の強化						
教職大学院を核とした学校教育の質向上への貢献	教職大学院の先進プログラムの県教育界への波及						○教員就職率 75% (教育学研究科 85%) ○栃木県小学校教員占有率 35% ○学校支援活動の積極的推進(学校等への派遣人数 700名)
	実践的指導力を持つ教員の育成						
	教員・学生による学校支援活動の積極的推進						

# 重点戦略3

## グローバルリーダーの育成

地域のグローバル化や地域からのグローバル化に対応する人材育成と共に、高大連携の拡充により次世代の地域リーダーを育成します。

### 地域に貢献するグローバルリーダーの育成を強化します。

#### 英語運用能力の向上、グローバルな素養の獲得

大学英語教育学会賞を受賞した教育プログラム<sup>\*</sup>、全学副専攻(グローバル人材育成プログラム、グローバルリーダー育成プログラム)を充実します。

※EPUU: English Program of Utsunomiya University



EPUUスタッフ



駐日ガーナ共和国大使と



外国語臨地演習

#### 海外留学の機会拡充

「とちぎグローバル人材育成プログラム」<sup>\*1</sup>や「トビタテ! 留学JAPAN: 地域人材コース」<sup>\*2</sup>による経済的支援を活用し、交換留学、国際インターンシップ、海外英語研修プログラムを充実します。

※1 栃木県より経費支援を受けています。

※2 文部科学省(学生支援機構)の認定を受けて実施するもので、栃木県・栃木県経済同友会及び国から経費支援を受けています。



#### 外国人留学生の受入増加

海外に宇都宮大学の魅力を発信するとともに、独自の奨学金を拡充して外国人留学生の受入を増やします。

#### 多様なグローバル教育プログラムの展開

「国際キャリア開発プログラム」の全学展開を図るとともに、「HANDSプロジェクト」を基礎とした外国人児童生徒支援やグローバルな視点に立った地域貢献プロジェクトを展開します。



#### 国際通用性のある教育システムの整備

海外の大学との単位互換を円滑に行うために、科目ナンバリング等の整備を行うとともに、海外の大学院とのダブルディグリープログラムを拡充します。



#### 国際学部の改組

グローバルな実践力を持って国際分野で活躍する人材を育成します。

# 次代を担う地域リーダーを育成します。

## 高大連携の推進

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)やアグリ・カレッジなどの高大連携事業を積極的に実施します。  
また、様々な機会を活用して地元高校教員との意見交換を行い、新たな連携事業を展開します。



アグリ・カレッジ

## 高度なサイエンス教育と科学人材育成

グローバルサイエンスキャンパス事業\*を着実に実施し、地元高校生に質の高いサイエンス教育・グローバル教育を提供します。

※「君が未来を切り拓く～宇大の科学人材育成プログラム～」(H27-30)

## 新たな入学者選抜方法の開発

多様な学生が切磋琢磨し成長する場を創生するために、優秀な学生確保に向けた入学者選抜を実施します。



合格発表



バイオ実験体験講座



科学人材育成プログラム：iP-U  
(Incubation Program for innovative students at Utsunomiya University)



主要施策	2016	2017	2018	2019	2020	2021	成果指標(KPI)
グローバルリーダーの育成強化	実践的英語運用能力の伸長						○TOEIC650点以上:全学生の10%、550点以上:全学生の25%
	グローバルな素養とコミュニケーション能力の育成						○グローバル人材育成プログラム・グローバルリーダー育成プログラムの受講生 200名
	留学機会・環境の拡充 外国人留学生の積極的受入						○日本人学生の海外留学人数 200名 ○外国人留学生受入数 350名 ○2017年に国際学部改組
	準備	新・国際学部スタート					
次代を担う地域リーダーの育成	高大連携事業の積極的推進						○現状900名程度の高大連携事業を毎年継続
	グローバルサイエンスキャンパス事業の実施		高校生向け教育プログラムの充実				○グローバルサイエンスキャンパス ●基盤プラン 60名 ●才能育成プラン 10名
	新たな入学者選抜方法の検討・実施						

# 重点戦略4

## 地域イノベーションの創出 —強みと特長を有する研究の戦略推進—

地域志向研究を活性化して、新産業の創出や既存産業の高付加価値化に結びつく地域イノベーションを創出します。

### 農・工・融合的イノベーションを創出します。

#### 地域ニーズにマッチした研究の推進

地域共生研究開発センターを中心に地域ニーズを積極的に把握し、ニーズに対応した研究を推進します。さらに、地域連携戦略機構を設置してニーズの把握とマッチング機能を強化します。

#### 地域・社会のニーズに応じた組織改革

農学及び工学、そして融合分野における特色ある研究を基盤として、農学研究科、工学部の改組を行います。



イチゴ摘みロボット

#### 農工融合分野の先端的研究の推進

地域イノベーション戦略支援プログラム\*による、地域の食の強み(いちご)を活かした世界トップレベルの研究など、農工融合分野の先端的研究を推進します。

\*～とちぎ特産物の多面的高度利用によるイノベーション～フードバレーとちぎを目指して～(H26～H30)

#### 地域イノベーションを創出する共同研究の推進

栃木県の“明日を拓く成長戦略”に並行してフードバレーやものづくりの分野における産官学金の連携を強化し、共同研究を進めています。



農学部附属農場



附属農場で開発した米の  
オリジナル品種「ゆうだい21」



大粒完熟イチゴ用新型容器「フレシェル®」

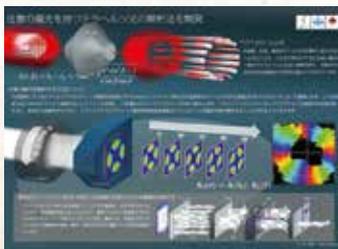
### 世界に通じる先端的研究開発を進め、研究支援体制を強化します。

#### 光学分野の世界的研究拠点への発展

光学分野において、国際的ネットワークの形成による世界的研究拠点への発展をめざします。



オプティクス教育研究センター建物外壁に設置された  
「空間、光変調器 (SLM)」



任意の偏光を持つテラヘルツ光の解析法を開発



ホログラフィックフェムト秒レーザー加工装置

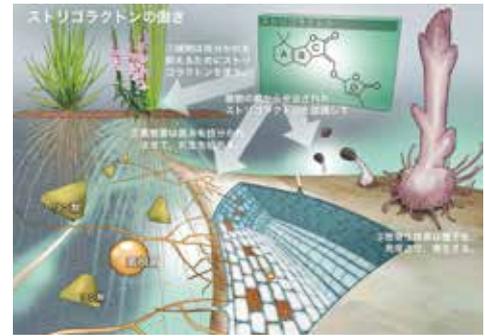
### 学内外の連携による共同研究・融合的研究の推進

企業との共同研究プロジェクトを拡大するとともに、オプティクス教育研究センターとバイオサイエンス教育研究センターの連携による特色ある融合的研究を推進します。

### 大学全体の研究活力の向上

地域共生研究開発センターのコーディネーターやURA\*室等の協力を得ながら、競争的資金獲得など研究者への多様な支援を行います。

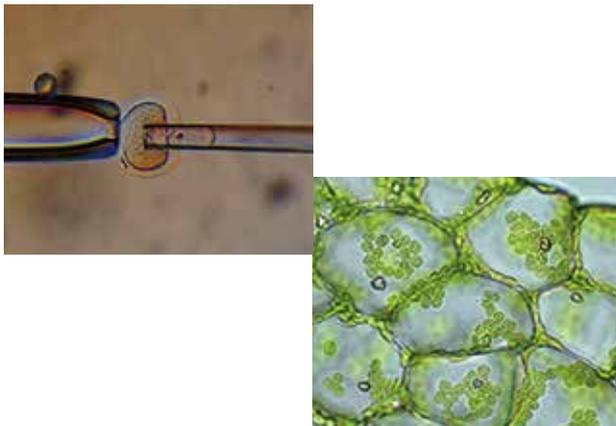
\*University Research Administrator : 研究資金の調達・管理、知的財産の管理・活用等をマネジメントする人材



枝分かれ調整ホルモン「ストリゴラクトン」の働き

### 革新的・萌芽的研究プロジェクトへの重点支援

独創的で学際的、融合的な特徴ある研究プロジェクト、若手の萌芽的研究プロジェクトを厳選し、全学的に支援します。



地域共生研究開発センター



バイオサイエンス教育研究センター



オプティクス教育研究センター

主要施策	2016	2017	2018	2019	2020	2021	成果指標 (KPI)
農・工・融合的イノベーションの創出	トップレベルの研究の推進						○国際的に著名な学術誌への1人当たりの掲載件数10%UP ○産官学金を含めた地域との連携プロジェクト数(共同研究等)10%UP
	イノベーションを生む地域との連携プロジェクトの推進						
先端的研究の開発・推進と研究支援体制の強化	世界に通じる先端的研究、融合的研究の推進						
	研究支援体制の強化による研究活力の向上						

学長のリーダーシップの発揮とガバナンス改革によって戦略的な大学経営を行います。また、多様で優秀な人材の確保・活用による教育研究の活性化に資する人事・給与システム改革を行います。

## ガバナンス機能を強化し、組織運営の改善を迅速かつ戦略的にを行います。

### 新しい研究分野の創出のための組織整備

教育プログラムの継続的改善ならびに異分野融合的研究の創出を推進するために、教育組織と教員組織を整備します(教教分離)。

### 機動的・戦略的な大学経営

- 学長補佐体制と監事機能を強化して、学長が全学的なリーダーシップをとれる体制を整備します。
- 役員間・部局間の円滑な意思疎通によりフォローシップを強化するとともに、構成員相互の信頼と協働を重んじながら全学一体となった大学づくりを目指します。
- 様々な学外者の意見を取り入れ、社会や地域のニーズを大学運営に的確に反映させます。
- IR※情報を一元化し、その分析結果を学内で共有して大学の戦略策定に活かします。
- 外部資金や競争的資金の獲得、自己収入の一層の拡大により安定した財務基盤を確立し、教育環境、研究環境を整備・充実します。

※Institutional Research : 教育研究・経営・財務情報など大学の諸活動に関する情報収集・蓄積、教育機能についての調査分析を行い、大学の意思決定に寄与する活動

### 明確な目標・計画の設定と実行・評価による自律的改善

各組織が毎年「戦略的年度計画」を策定し、その計画の達成度を重層的に評価して改善につなげていきます。

### 大学情報の効果的発信と戦略的広報

大学の諸活動を対象者の目線に合わせてわかりやすく情報発信するとともに、宇都宮大学への理解と支援を一層得るために魅力的な企画を実施し、積極的に広報していきます。



宇都宮大学広報誌  
UUnow(ユー・ユー・ナウ)



ガイドブック



フリーペーパー うーたす!

## 多様で優秀な人材の確保に努め、開かれた研究環境を創出します。

### 柔軟な人事・給与制度

国内外の優秀かつ多様な人材を確保するために、年俸制の適用範囲の拡大、クロス・アポイントメント制度の活用等を進めます。



宇都宮大学ホームページ

### 優れた若手・女性研究者の積極的採用

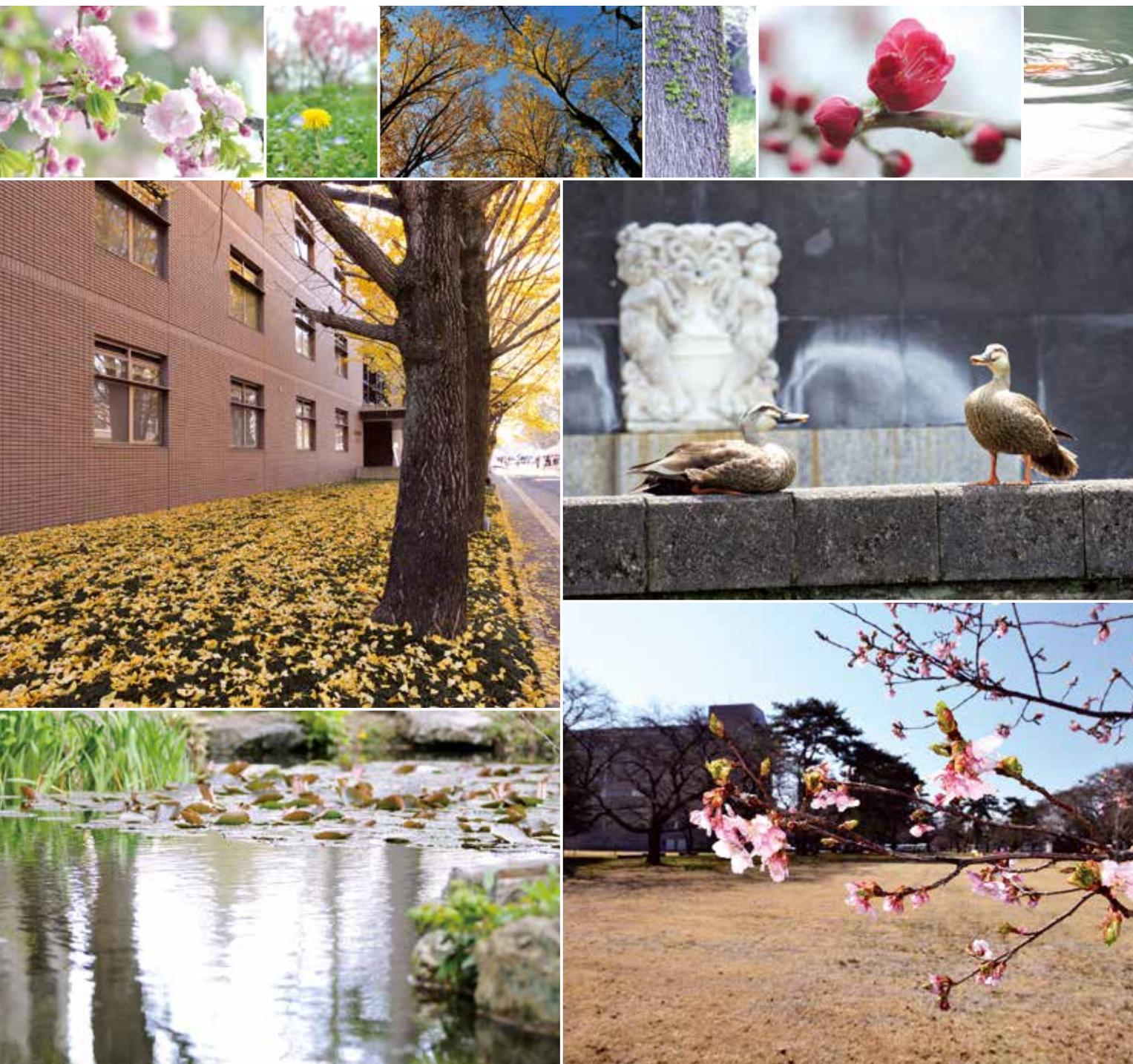
- 各部局でのテニュアトラック制度の適用を促進し、意欲的で優れた若手研究者の確保に努めます。
- 本学のアクションプランに沿って、女性教員の増加と管理職に占める女性比率の向上に努めます。

### 新教員評価制度による一人ひとりの活力の向上

自己研鑽による教育研究等の一層の質向上と、それを組織的改善に活かせる仕組みを構築します。



メンター研修



主要施策	2016	2017	2018	2019	2020	2021	成果指標 (KPI)
ガバナンス機能の強化、組織運営の戦略的改善		教教分離の実施・継続的改善					○2016年度中に教教分離を実施
		学長による部局長の業績評価実施					
		新内部質保証システムによる組織評価の実施(全学PDCA)					
		宇大情報の効果的発信と戦略的広報					
多様で優秀な人材の確保、開かれた研究環境の創出		柔軟な人事・給与制度実施					○女性教員比率 20% ○2018年度までに新しい教員評価制度を導入
		優れた若手・女性研究者の積極的採用					
	制度設計・試行	新教員評価制度実施					

# 宇都宮大学 概要

●大学名 [代表者名]  
国立大学法人 宇都宮大学 [学長:石田朋靖(第20代)]

●所在地 [最寄駅~位置]  
〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350  
[JR宇都宮駅~南東2.2km]

●入学定員 (単位:人)

学 部	入学定員
地域デザイン科学部	140
国際学部	90
教育学部	170
工学部	315
農学部	195
合 計	910

●設立年月日 [根拠法令]  
1949年(昭和24年)5月31日  
[国立大学設置法]:創立67年(2016.5.31)

●法人化年月日 [根拠法令]  
2004年(平成16年)4月 1日 [国立大学法人法]

研 究 科	課 程	入学定員
国際学研究科	博士前期課程	30
	博士後期課程	3
教育学研究科	修士課程	25
	専門職学位課程	15
工学研究科	博士前期課程	212
	博士後期課程	30
農学部研究科	修士課程	71
合 計		386

●在籍者数 [H27.5.1現在(単位:人)以下同じ ※留学生数は在籍者数の内数]

学部・研究科	課 程	在籍者数(うち女性)	女性比率	留学生数(うち女性)	女性比率		
学部		4,160(1,620)	38.9%	143(82)	57.3%		
研究科	修士課程	657(144)	22.0%	114(60)	52.6%		
	博士前期課程						
	専門職学位課程					14(4)	28.6%
	博士後期課程					97(20)	20.6%
合 計		4,928(1,788)	36.3%	257(142)	55.3%		

●進路状況 [平成26年度 学部卒]

区分・員数					合 計
進学(大学院・その他)					284
就 職	製造	124	情報通信	44	615
	教員	106	建設	33	
	公務員	103	金融・保険	21	
	サービス	86	運輸・郵便	11	
	卸・小売	48	その他	39	
その他					52
合 計					951

●教職員数

区 分	員 数
役員(非常勤監事2を含む)	7
大学教員	340
附属学校教諭	85
事務系職員	209
合 計	641

●収入支出決算額等 (平成26年度)

収入金 10,589百万円  
支出金 10,278百万円  
資産額 81,176百万円

●就職率 (学部卒)

H27.3卒:98%、H26.3卒:96%、H25.3卒:95%

## ●敷地面積・主要部局

地区名	主要部局	敷地面積 (㎡)
峰地区	事務局、国際学部、教育学部、農学部、基盤教育センター、地域連携教育研究センター、雑草と里山の科学教育研究センター、総合メディア基盤センター本部、バイオサイエンス教育研究センター、教職センター、キャリア教育・就職支援センター、留学生・国際交流センター、保健管理センター、附属図書館	237,263
陽東地区	地域デザイン科学部、工学部、地域共生研究開発センター、オプティクス教育研究センター、総合メディア基盤センター、留学生・国際交流センター分室、保健管理センター分室、附属図書館分館、学生寮	178,373
石井町第2団地	学生寮、国際交流会館	22,847
松原地区	附属幼稚園、附属小学校、附属中学校	48,980
宝木地区	附属特別支援学校	17,883
その他	農学部附属農場	1,016,165
	農学部附属演習林(船生演習林)	5,313,094
	農学部附属演習林(日光演習林)	2,083,986

## ●平成28年度主要行事

4月 6日 入学式	10月 1日 後期授業開始	2月 2日 後期試験開始(2/8まで)
4月11日 前期授業開始	11月19日 峰ヶ丘祭(11/20まで)	2月13日 春季休業開始
7月18日 夏季オープンキャンパス	11月22日 開学記念日	2月25日 個別学力検査(前期)
8月 1日 前期試験開始(8/5まで)	12月28日 冬季休業開始(1/4まで)	3月12日 個別学力検査(後期)
8月10日 夏季休業開始(9/30まで)	1月14日 センター試験(1/15まで)	3月24日 学位記授与式

## 大学キャッチフレーズ

## 豊かな発想を地域に、新たな知を世界へ

## 学部キャッチフレーズ

(背景色=学部カラー)

## 地域デザイン科学部

地域の未来を科学の力で

## 国際学部

世界をつなぐ力を求めて

## 教育学部

教師力・人間力。探求から創造へ

## 工学部

夢・未来を創る

## 農学部

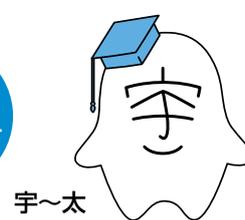
「農」が切り拓く新時代



校章



ロゴマーク

オリジナル  
キャラクター



国立大学法人

宇都宮大学

UTSUNOMIYA UNIVERSITY

